

「Ⅶ」逗子披露山コース

平成21年11月5日(木)(集合JR鎌倉駅 改札前10時厳守)

行程; JR鎌倉駅バス移動→「バス停光明寺」→光明寺→小坪坂(峠)→住吉城趾・住吉神社→正覚寺→和賀江島→六角の井→海前寺→小坪寺→小坂天王社→殿の井→八幡宮→天照大神社→仏乗院→披露山庭園住宅・披露山公園→古東海道→新宿稻荷社→高養寺→逗子駅着。

1・光明寺(浄土宗・天照山・総門欄間龍彫刻・本尊、木像阿弥陀三尊像・鎌倉三十三観音第18番・鎌倉24地蔵第22番)

鎌倉幕府4代執権北条経時(ツネキ)が、仁治元年(1240)に然阿(ネア)良忠を開山として佐助ヶ谷に建てた蓮花寺を、寛元元年(1243)現在の地に移して光明寺と改めたのが始まりと言う。経時が亡くなった後、時頼をはじめ代々の執権が敬(ウヤ)った寺院である。江戸時代には浄土宗学問所として関東18壇林(ダンリン・有名な学問所)第一位として栄えた。記主庭園(蓮池・小堀遠州作・良忠、弘安10年、1287、没後伏見天皇から記主禅師名を賜る)・三尊五祖来仰の庭園(浄土式枯山水石庭・三尊;阿弥陀如来、観音、勢至菩薩・浄土宗五大祖師;釈迦、善導、法然、鎮西、記主)・地蔵菩薩座像(正中2年、1325の銘)・延岡藩主内藤家墓群(宝篋印塔群)。

○花便り;春「サクラ」夏「ハス」。

○国指定文化財等※印国宝;紙本著色当麻曼荼羅縁起絵巻、松平定信添書(※国宝館)・紙本著色浄土五祖絵伝、絹本著色十八羅漢及僧像、絹本著色当麻曼荼羅図、紙本著色浄土5祖絵(善導巻※国重文国宝館)・絹本著色聖衆来仰図、紙本墨書光明寺文書(市指定国宝館)。

○歳時記;10/12~15お十夜。

○名石物;明德5年(1394)銘、五輪塔(要拝観)。

○裏山(天照山)は神奈川景勝50選の一つ、材木座海岸・稲村ヶ崎・江ノ島、富士山展望素晴らしい。

○秋葉山大権現;天照山刀剣鍛錬所跡・良忠上人御廟・歴代住職の墓。

○松尾芭蕉;江戸前期俳人(正保元年1644、~元禄7年1694)。名は宗房。「俳号そうぼう・はせを」幼名金作、通称甚七郎。別名桃青・風羅坊(フウバリ)など。伊賀(三重)上野生、藤堂(トトリ)家侍大将新七郎の子良忠(俳号、蟬吟セギン)に仕え、俳諧に志した。一時京都で北村秀吟(キギン)にも師事、後、江戸に下り水道工事などに従事したが、やがて深川の芭蕉庵に移り、談林(江戸時代前期西山宗因を中心とする軽妙な作風派)の俳風を越えて俳諧に高い文芸性を賦与し、蕉風を創始。その間各地を旅して多くの句名と紀行文を残し、難波(ナニ)の旅舎に没。句は「俳諧7部集」等現在知られている俳句1000句・連句約300・書簡約160通、紀行文5・俳文100編余・主な紀行・日記に「野ざらし紀行」・「更科紀行」・「奥の細道」・「嵯峨日記」等。「春もやゝ気しきとゝのふ月と梅」芭蕉翁(本堂右手前)。

碑裏;明治8年千葉から旅僧、定賢和尚が当地を訪れ千手院の住職となり寺子屋の先生をして明治25年亡くなったが、教え子の一人、田中氏が和尚を偲んで芭蕉の句を選び、当時14才の子息安太郎に書かせて、

この句碑を建てたもの。句意;春とは名ばかりで、まだ寒い寒いと思っているうちに、いつか梅が咲き、月もおぼろにかすんで、ようやく春らしくなってきた。

①千手院(支院・浄土宗・本尊、阿弥陀如来・千手観世音菩薩・鎌倉三十三観音第20番・学童墓・寺子屋祈念碑)

光明寺が大壇林であった時、各地から集まる学僧の修行道場、僧坊の一つ。江戸時代末期には学僧の教えも減った為、近所の子供達の読み書きなど教える様になった。松尾芭蕉の句が刻まれた寺子屋祈念碑。

①蓮乗院(支院・浄土宗・本尊、阿弥陀如来立像寄木造・当院紋月星、千葉常胤守神、月星紋・鎌倉三十三観音19番)

光明寺より早い時期に此の地にあり、蓮乗寺と言い、光明寺が此の地に移ってきてから子院となり蓮乗

院と名を改めたと言う。良忠上人が光明寺落成まで此处に住居して建築に督励(トクイ)したと言う。光明寺新住職になるとまず蓮乗院に入って光明寺本山方丈になる習わしになっている。

本堂板ふすま絵・格天井。

2・小坪坂（小坪峠・古東海道）

治承4年（1180）8月、石橋山の戦いの後、衣笠城へ引き揚げて行く三浦勢と、追ってきた畠山重忠勢が、小坪坂から由比ヶ浜で激しい戦いをした。畠山勢は敗れて一度は退いたが、三浦氏の本拠衣笠城を攻め落とした。古東海道はこの辺りを姥ヶ谷へ越えていたようです。

3・住吉城趾・住吉神社（正覚寺裏山・飯島氏神社・三浦道寸支城住吉城大手口に当たり城の鎮守と思われる）・くらやみやぐら（と呼ぶトンネル・社殿右手山中を切り開いた洞口城の抜け穴幅高さ2m奥行き10数m）

永正9年（1512）北条早雲に中郡の岡崎城を追われた三浦義同（ヨシアツ・道寸、本名高行）は、弟道香と力を合せ住吉城に籠もって早雲軍を迎え撃った。義同達の奮戦も甲斐無く落城。三浦勢は三崎新井城籠城3年の後、永正13年（1516）油壺を血潮に染める激戦の末、一族壮絶な最期を遂げた。

4・正覚寺（浄土宗・住吉山悟真院・本尊木造阿弥陀如来立像・宝篋印塔、五輪塔、三界万霊、等石塔群）

光明寺開山然阿良忠（記主禅師）が、全国行脚の末鎌倉に来て最初に滞在し、浄土宗を広めた所で、良忠が茶毘に付された跡に建てられたと言う。開山良忠禅師、悟真寺（ゴシンジ）が出来たが、永正9年（1512）住吉城とともに、兵火にかかり焼けてしまいましたが、天文10年（1541）悟真寺正覚寺として復興した。門前を江戸時代の古道が小坪方面へ通っていたが、現在は崖崩れ、埋め立てで廃道。道入口に庚申塔群立つ。

5・和賀江島碑

貞永元年（1232）勧進上人往阿弥陀仏の言を入れて鎌倉幕府の執権北条泰時が協力し、1ヶ月を費やし造った築港の跡（国指定史跡）。

6・六角の井（鎌倉十井・矢の根井戸・鎌今も竹筒に奉られている・十井他；底脱、鉄、星、棟立、瓶、甘露、泉、扇、鉚子）

井戸側は八角に積み上げているが、六角が鎌倉分、二角が小坪飯島分と言われる。別名矢の根井と呼ばれ、源為朝が伊豆大島から天照山目がけて射った矢が落ちてやじりが残って、こう名付けられた。

7・海前寺（時宗遊行寺末本尊木造阿弥陀三尊立像室町期作仏教彫刻市指定文化財住吉城合戦戦死者菩提弔い？）

永和年（1376）に創建。寺の下古道沿いに庚申塔や二十三夜塔並ぶ。

8・小坪寺（境内に昔香蔵寺と報身院の浄土宗2寺あった・本尊石造阿弥陀三尊像、脇侍観音、勢至両菩薩像庚申供養建立との銘文）

明治40年（1907）火災全焼翌41年両寺を合併小坪寺とする。

9・小坂天王社（小坂太郎光頼守護神・祭神牛頭天皇・インド祇園精舎守護神様日本の素盞鳴尊同様神・須賀神社鷺浦神社とも言う）

33年毎に大祭、葉山一色森山神社（祭神櫛名田姫）へ天王社神輿が行く。

10・殿の井（この附近は頼朝に仕えた、武将小坂太郎光頼屋敷跡）

11・八幡宮（小坂伊勢町鎮守・祭神応神天皇、本尊阿弥陀如来・現在も神仏習合で残る）

12・天照大神社（小坪総鎮守・関東大震災全壊、昭和8年3年間500戸氏子が毎日1銭貯金続5千円で再建）

13・仏乗院（真言宗逗子大師延命寺派・海潮山仏乗院阿弥陀寺・本尊木造阿弥陀如来立像鎌倉後期作市重文永正10年8月彩色也銘1513同年修理）

14・披露山庭園住宅・披露山公園・駐車場に「人生の本舞台は常に将来にあり」刻尾崎行雄祈念碑

15・古東海道（足柄峠→相模国古東海道南下鎌倉道→小坪峠→姥ヶ谷→逗子湾岸→沼間→桜山側渡り鍛冶→葉山堀→木古庭道→衣笠→走水と思われる）

16・新宿稲荷社（新宿鎮守・伏見稲荷・裏山には7～8世紀頃の多くの横穴古墳があった見学不可・向拝流造り木造建築昭和32年改築）

山道への階段手前右側が昔の尾崎行雄（ユキオ・号、号堂が外郎・1858～1954・政党政治家相州津久井生れ、慶応義塾学び、改進黨創立に参加第一義会以来25年連続議会で議席を占め、憲政の神様、東京市長。大隈内閣法相、太平洋戦争期※翼賛選挙批判告発される）邸、曲がり角に「風雲閣」表札残る。※東条内閣第21回総選挙において翼賛政治協議会による候補者推薦制導入非推薦者候補を圧迫、推薦候補者が候補者定数466名中381名を占めた。

12・高養寺（真言宗・白滝山・白滝不動尊、小滝不動尊安置・波切不動、白滝不動と呼ばれる不動尊堂があった・徳富蘆花小説不如帰有名になり浪子不動と呼ぶ・本来は浪切不動信仰の漁師の守り

神であった)

葉山堀ノ内に鎌倉末に建てられた慶増院（真言宗）があり、近世無住、昭和初期日本画家黒住章堂氏が僧籍に入り、寺の復興を志した。その時、高橋是清と犬養敬両氏の援助を受けて本堂建立。両氏の性から一字ずつとって寺名を高養寺と改称した。章堂氏没後、昭和28年池子東昌寺の先代住職岸本恵雲師の手で現在地浪子不動境内に移築された。

不如帰文学碑・徳富健次郎（蘆花・碑の下に蘆花愛用の筆と硯納埋）；蘆花の兄蘇峰の揮毫（キョウ・書画）になるもので、昭和8年町制施行20周年記念の為に町民募金によって建てられたもの。潮の干た時は、碑迄行く事が出来る。

鎌倉光明寺内藤家墓所

江戸霊岸島（現中央区新川・茅場町の次の区画）に霊巖寺があった。この寺は幕府親藩や要職にあった大名などの墓所が有った。

日向延岡藩内藤家は徳川譜代大名で大阪の陣に尽くし、江戸幕府を開くにも功績があった。内藤家もここに墓所を持っていた。

明暦の大火で霊巖寺も消失し、幕府の江戸防火計画に基づき同寺は現江東区白河（隅田川を清洲橋で渡り清澄の先）に移転した。

是を期に延岡藩は郷里延岡と同様海の望める、此の地に移転したと聞く。

09 / 10 / 8 木島調査概要 記

